注3

大学番号:私065

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1



芝浦工業大学 建築学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人芝浦工業大学 令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 豊洲学事部大学企画課

職名・氏名 次長 白石 美知子

電話番号 03-5859-7200

(夜間)

F A X 03-5859-7201

e —mail kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

建築学部

< 建	建築学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	56

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人 芝浦工業大学

- (2) 大 学 名 芝浦工業大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7番5号 (〒108-8548 東京都港区芝浦3丁目9番14号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	(イガラシ ヒサヤ) 五十嵐 久也 (平成22年6月)		
学長	(ムラカミ マサト) 村上 雅人 (平成24年4月)		
学 部 長	(ホリコシ ヒデツグ) 堀越 英嗣 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
建築学部 建築学科	工学関係	4年	240人	-年次 -人	960人	
学士(建築学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -(2) 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成27年	度 平成2	28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均入学定員		備	考
区分	春季入学 その他	の学期 春季入学	を その他の学期		春季入学 その他の学期		超過率	の平均入学定 員超過率	и н	73
A 入学定員	() [) (240人 - 人 (-) [-]	240人 - 人 (-) [-]	240人 - 人 (-) [-]				
志願者数	()([][)(;	(/)	8052 - (-) (-) [30] [-]	7407 - (-) (-) [36] [-]	7697 - (-) (-) [9] [-]				
受験者数) ()) (()	7833 - (-) (-) [30] [-]	7213 - (-) (-) [36] [-]	7452 - (-) (-) [9] [-]	1.06倍	- 倍		
合格者数) ()		()	1120 – (–) (–) [15] [–]	1018 - (-) (-) [8] [-]	1182 - (-) (-) [6] [-]				
B 入学者数	()		()	270	247 - (-) (-) [4] [-]	251 - (-) (-) [1] [-]				
入学定員超過率 B/A				1. 12	1.02	1. 04				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。

 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	7 年度	平成2	8年度	平成 2	9年度	平成 3	0 年度	令和力	元年度		備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	!	um .	.,
		_	-	-	-	270	-	248	-	251				
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[14]	[-]	[4]	[-]	[1]	[]			
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)				
				-	-	-	-	263	-	254				
	2 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[11]	[-]	[7]	[]			
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(7)	()			
						-	-	-	-	254				
	3 年次					[-]	[-]	[-]	[-]	[8]	[]			
						(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()			
								-	-	1	-			
	4 年次							[-]	[-]	[-]	[-]			
								(-)	(-)	(-)	(-)			
			-	-	-	2	70	5	11	75	9			
	計	[-	-]	[-	-]	[1	4]	[1	5]	[1	6]			
		(-	-)	(-	-)	(-	-)	(1)	(7)			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 年者の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i}}$ 当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	**** **/\	治学 来()		内訳		主な退学理由
対象年度	仕字有剱(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
13.81.2	,				うち留学生数	
平成27年度	Á	À	平成27年度	*		
平成28年度		/ ,	平成27年度	/ /	/	
十成20千度			平成28年度	人 人	/	
			平成27年度	人	人	
平成29年度	270 人	5 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	5 人	1人	就職(3人)、学生個人の心身に関する事情(2人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、経済的困窮(1人)、本人死亡(1人)
			平成27年度	人	人	
平成30年度	511 人	2 人	平成28年度	Д	人	
			平成29年度	1 人	人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			平成30年度	1 人	人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
令和元年度	759 人	2 人	平成29年度	1 人	人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成30年度	1 人	人	学生個人の心身に関する事情(1人), 就職(1人)
			令和元年度	人	人	
合 計		9 人		9 人	1 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】 平成27年度の退学者数(a) 平成27年度の在学者数(b) _ = __ 【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b) - = -【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) 1.85 % 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) 0.39 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 0.26 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<建築学部 建築学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

配当年次 単位数 専任教員等の配置 兼任 科目 区分 授業科目の名称 准教授 兼担 建築デザイン基礎 1前 2 3 兼5 建築デザイン入門 1前 兼1 2 居住空間史 1前 2 2 力学の基礎 1前 2 デザイン史 1後 2 兼1 建築デザイン基礎 1後 2 2 兼7 建築の形態と空間 1後 2 兼1 建築環境工学1 1後 2 2 構造力学·演習 1後 3 2 専門科目 空間建築デザイン 演習1 2 2 都市建築デザイン 1後 2 1 兼1 演習1 建築 ものづくり 1後 2 建築スタジオ演習1 1後 2 兼2 住生活論 2前 2 兼1 CAD•CG演習 2前 兼3 2 都市地域計画 2前 2 2 1 建築環境工学2 2前 2 兼1 1 材料力学·演習 2前 3

【令和元年度】

ti D		配	Ì	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	建築デザイン基礎 1	1前	2			3					兼6
	建築デザイン入門	1前		2		22	1	1			
	居住空間史	1前		2		2					
	力学の基礎	1前		2		5	1				
	デザイン史	1後		2							兼1
	建築デザイン基礎2	1後	2			2					兼8
	建築の形態と空間	1後		2		2					
	建築環境工学1	1後	2			2					
専門な	構造力学・演習	1後	3			2					兼1
科目	空間建築デザイン 演習1	1後		2		3					兼1
	都市建築デザイン 演習1	1後		2				1			兼2
	建築 ものづくり	1後		2		1					
	建築スタジオ演習1	1後		2		1					兼2
	住生活論	2前		2							兼1
	CAD·CG演習	2前		2		1					兼3
	都市地域計画	2前		2		3					
	建築環境工学2	2前		2		2					
	材料力学・演習	2前 •後		3		1					兼2

科目	15 M. 4	配当		单位数			任教				兼任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
	建築構造計画	2前		2		1	1				
	構造材料	2前		2			1				兼1
	空間建築デザイン 演習2	2前		2		1					兼5
	建築設計計画論	2前		2		1					
	都市建築デザイン 演習2	2前		2		2					兼5
	建築計画1	2前		2		1					
	西洋建築史	2前		2		1					
	建築スタジオ演習2	2前		2		2					兼1
	プロジェクト研究1	2前		2		1	1				
	色彩•素材論	2後		2							兼1
専門科目	建築環境心理学	2後		2							兼1
	日本建築史	2 後・ 3前		2		2					
	BIM演習1	2後		2			1				兼3
	建築設備	2後		2		2					
	建築構造解析·演習	2後		3		1	1				兼1
	仕上げ材料	2後		2			1				兼1
	空間建築デザイン 演習3	2後		2		3					兼4
	建築設計論	2後		2		1					兼1
	地域設計論	2後		2		2					
	建築史	2後		2		1					
	建築構法	2後		2		1					

		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	建築構造計画	2前		2		1	1				
	構造材料	2前		2		2					
	空間建築デザイン 演習2	2前		2		3					兼5
	建築設計計画論	2前		2		1					
	都市建築デザイン 演習2	2前		2		2					兼5
	建築計画1	2前		2		1					
	西洋建築史	2前		2		1					
	建築スタジオ演習2	2前		2		2					兼1
	プロジェクト研究1	2前		2		1	1				
=	色彩·素材論	2後		2							兼1
専門科目	建築環境心理学	2後		2							兼1
	日本建築史	2 後・ 3前		2		2					
	BIM演習1	2後		2		1					兼4
	建築設備	2後		2		2					
	建築構造解析·演習	2前 •後		3		1	1				
	仕上げ材料	2後		2		2					
	空間建築デザイン 演習3	2後		2		5	2				兼3
	建築設計論	2後		2		2					
	地域設計論	2後		2		2					
	建築史	2後		2		1					
	建築構法	2後		2		1					

71 5		配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教1	講	助	助	兼
	都市建築デザイン 演習3	2後	修	2	由	授 1	授	師	<u>教</u>	手	兼5
	都市建築論	2後		2		1					
	地域マネジメント	2後		2			1				
	木造建築	2後		2		1					
	建築スタジオ演習3	2後		2			1				兼2
	プロジェクト研究2	2後		2		1					兼2
	BIM演習2	3前		2			1				兼4
	空調システム計画	3前		2		2					
	都市環境設備計画	3前		2		1					
専	建築振動解析	3前		2		1					兼1
等門科目	鉄筋コンクリート造 の設計1	3前		2		2					
	鋼構造の設計	3前		2			1				兼1
	建築環境実験	3前		2		3					兼2
	空間建築デザイン 演習4	3前		2		4					兼4
	近代建築と技術	3前		2							兼1
	建築構法計画論	3前		2		1					
	建築法規	3前		2							兼1
	都市住宅論	3前		2		1					
	建築生産	3前		2			1				
	建築材料施工実験	3前		2			1				兼1
	建築構造実験	3前		2		2	1				

		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	都市建築デザイン 演習3	2後		2		1					兼5
	都市建築論	2後		2		1					
	地域マネジメント	2後		2		1					
	木造建築	2後		2		1					
	建築スタジオ演習3	2後		2		1		1			兼1
	プロジェクト研究2	2後		2		1					兼2
	BIM演習2	3前		2		1					兼5
	空調システム計画	3前		2		2					
	都市環境設備計画	3前		2		1					
_	建築振動解析	3前		2		1					兼1
専門科目	鉄筋コンクリート造 の設計1	3前		2		2					
	鋼構造の設計	3前		2			1				兼1
	建築環境実験	3前		2		4					兼1
	空間建築デザイン 演習4	3前		2		5	1				兼3
	近代建築と技術	3前		2							兼1
	建築構法計画論	3前		2		1					
	建築法規	3後		2							兼1
	都市住宅論	3前		2		1					
	建築生産	3前		2		1					
	建築材料施工実験	3前		2		1					兼1
	建築構造実験	3前		2		2					

科目		配当		单位数				員等			兼 任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
	都市建築デザイン 演習4	3前		2	1	5					兼3
	都市地域デザイン演習	3前		2		1	1				兼1
	近代建築作家論	3前		2		1					
	都市デザイン論	3前		2		1					
	建築プロジェクトマ ネジメント	3前		2			1				
	建築構工法1	3前		2		1					
	建築材料構造実験	3前		2		2					
	建築スタジオ演習4	3前		2		1	1				
	空間情報デザイン演習	3前		2		1					兼1
声	プロジェクト研究3	3前		2		1					兼2
専門科目	建築英語	3後		2							兼1
	GIS演習	3後		2		1					
	プロジェクトゼミ	3後		2		22	5	1			
	建築音響計画	3後		2							兼1
	給排水システム計 画	3後		2							兼1
	光環境計画	3後		2							兼1
	基礎構造	3後		2							兼1
	鉄筋コンクリート造の設計2	3後		2		1					
	マトリックス構造解析	3後		2		1					
	建築防災	3後		2		1					
	空間地域デザイン演習	3後		2		2					兼1

		配	ĺ	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	都市建築デザイン 演習4	3前		2		5					兼3
	都市地域デザイン 演習	3前		2		2					兼1
	近代建築作家論	3前		2		1					
	都市デザイン論	3前		2		1					
	建築プロジェクトマ ネジメント	3前		2		1					
	建築構工法1	3前		2		1					
	建築材料構造実験	3前		2		3					
	建築スタジオ演習4	3前		2		1	1				兼1
	空間情報デザイン 演習	3前		2		1					兼1
	プロジェクト研究3	3前		2		1					兼2
専門科目	建築英語	3後		2							兼1
	GIS演習	3後		2		1					
	プロジェクトゼミ	3後		2		30	2	1			
	建築音響計画	3後		2		1					
	給排水システム計 画	3後		2							兼1
	光環境計画	3後		2							兼1
	基礎構造	3後		2							兼1
	鉄筋コンクリート造 の設計2	3後		2		1					
	マトリックス構造解析	3後		2							兼1
	建築防災	3後		2		1					
	空間地域デザイン 演習	3後		2		2					兼1

		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼 任			配	Ĺ	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
_		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	ランドスケープ論	3後		2							兼1		ランドスケープ論	3後		2							兼1
	建築文化史	3後		2		1							建築文化史	3後		2		1					
	施工計画·管理	3後		2							兼1		施工計画・管理	3後		2							兼1
	木造建築の設計	3後		2							兼1		木造建築の設計	3後		2							兼1
	建築計画2	3後		2		1							建築計画2	3後		2		1					
	建築・都市法規	3後		2		1							建築•都市法規	3後		2		1					
	都市開発マネジメント	3後		2							兼2		都市開発マネジメ ント	3後		2							兼2
	近代建築史	3後		2							兼1		近代建築史	3後		2							兼1
	建築経済	3後		2							兼1		建築経済	3後		2							兼1
	建築構工法2	3後		2							兼1		建築構工法2	3後		2							兼1
専門科目	空間保全再生計画	3後		2							兼1	専門科目	空間保全再生計画	3後		2							兼1
	維持保全·改修	3後		2		1	1						維持保全·改修	3後		2		3					
	卒業研究	4通	4			22	5	1					卒業研究1	4 前・ 後	2			29	2	1			
													卒業研究2	4 前· 後	2			29	2	1			
	建築家職能論	4前		2							兼1		建築家職能論	4前		2							兼1
	都市防災計画	4前		2							兼1		都市防災計画	3後		2							兼1
	海外建築研修	4前		2							兼1		海外建築研修	2後		2		4					
	国内プロジェクト1	2後		2		1					兼1		国内プロジェクト1	1·2 ·3 前·		1			1	1			
	国内プロジェクト2	1· 2·3 前		1			1						国内プロジェクト2	1·2 ·3 前·		1		1		1			
	国内プロジェクト3	1· 2·3 後		1		1							国内プロジェクト3	1·2 ·3 前後		1			1	1			
	国内プロジェクト4	1· 2·3 前		1			1						国内プロジェクト4	1·2 ·3 前·		1		1		1			

		配当	Ě	单位数	女	専	任教	(員等	の配	置	兼任	1			配当	Ĺ	单位数	汝	車	F任教	(員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次 1・	修	択	由	授	授	師	教	手	担				次 3.	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	インターンシップ1	2·3 後		1		1								インターンシップ1	4 前後 3・		1		1					
	インターンシップ2	3•4 前		1		1								インターンシップ2	4 前· 後		1		1					
	国際プロジェクトA	3·4 後		1		1								国際プロジェクト 1A	1· 2· 3·4 前後		1		1					
														国際プロジェクト 2A	1· 2· 3·4 前·		1		1					
														国際プロジェクト 3A	1· 2· 3·4 前·		1		1					
														国際プロジェクト 4A	1· 2· 3·4 前·		1		1					
	国際プロジェクトB	1· 2· 3·4 前		1		1								国際プロジェクト 1B	1· 2· 3·4 前·後		1		1					
														国際プロジェクト 2B	1· 2· 3·4 前後		1		1					
専門科目													専門科目	国際プロジェクト 3B	1· 2· 3·4 前後1·		1		1					
														国際プロジェクト 4B	2· 3·4 前· 後		1		1					
	韓国建築実習A	1· 2· 3·4 後		1		1								韓国建築実習A	3 前・ 後		2		1					
	韓国建築実習B	3前		2		2								韓国建築実習B	3 前・後		2		1					
	フランス建築実習A	3前		2		2								フランス建築実習A	3 前*		2		1					
	フランス建築実習B	3前		2		1		1						フランス建築実習B	3 前• 後		2		1					
	イタリア建築実習A	3前		2		1		1						イタリア・ラクイラ 建築実習A	3 前• 後		2		1					
														イタリア・ラクイラ 建築実習B	3前後		2		1					
	イタリア建築実習B	3後		2		1	1				兼1			イタリア・ローマ建 築実習A	2 前後 2		2		1					
														イタリア・ローマ建 集実習B	前後 3		2		1					
	ロシア建築実習A	3後		2		1	1				兼1			ロシア建築実習A	前後		2		1					兼1

		配当		単位数			任教				兼任	Γ			配当		单位数					の配		兼任
科目 区分	授業科目の名称	年	必	選		教	准教	講	助	助	兼	₹ [科目 区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼担
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担	F			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
専門	ロシア建築実習B	3後		2		1					兼1		専門	ロシア建築実習B	3 前・ 後		2		1					兼1
科目	芝浦工業大学通論	1 前• 後		2		1					兼1		科目											
	微分積分第1	1前		2							兼6			微分積分第1	1 前後		2				1			兼4
	微分積分第2	1前		2							兼6			微分積分第2	1前・後		2				1			兼4
	線形代数1	1前		2							兼6			線形代数第1	1 前· 後		1		1					兼4
														線形代数第2	1 前・後		1		1					兼4
	微分積分第3	1後		2							兼7			微分積分第3	1前後		2							兼4
	微分積分第4	1後		2							兼4			微分積分第4	1前後		2							兼4
	線形代数2	1後		2							兼4			線形代数第3	1前後		1							兼5
共通・教													共通・教	線形代数第4	1前後		1							兼5
養科目	確率と統計1	2前		2							兼6		教養科目/	確率と統計第1	2 前• 後		1				1			兼2
/ 数理基础													/ 数理基礎	確率と統計第2	2 前• 後		1				1			兼2
礎科目/	微分方程式	2前		2							兼3		/	微分方程式第1	2 前• 後		1				1			兼2
数学科目													数学科目	微分方程式第2	2 前• 後		1				1			兼2
	ベクトル解析	2前		2							兼1			ベクトル解析第1	2 前• 後		1				1			兼3
														ベクトル解析第2	2 前• 後		1				1			兼3
	フーリエ解析	2前		2							兼1			フーリエ解析第1	2 前· 後		1							兼3
														フーリエ解析第2	2 前• 後		1							兼3
	確率と統計2	2後		2							兼1			確率と統計第3	2 前• 後		1		1					兼2
														確率と統計第4	2 前• 後		1		1					兼2
	ラプラス変換	2後		2							兼1			ラプラス変換第1	2 前• 後		1							兼2

科日		配当	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任		科日		配当	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担	Ī	科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
共通·教養科目			IS	DV.		tx	TX.	pih	40	T	<u>ı</u>		共通·教養科目	ラプラス変換第2	2 前· 後	199	1	В	TX	tx	pil	- 1 X	7	兼2
科目 科里基礎科目	関数論	2後		2							兼1	:	科目 /数理基礎	関数論第1	2 前· 後		1		1					兼4
科目/数学													科目/数学	関数論第2	2 前・ 後		1		1					兼4
	物理学入門	1前		26							兼 14			物理学入門	1 前・ 後		2							兼4
共	基礎力学	1後		2							兼3		共	基礎力学	1後		2							兼1
八通・教養科	基礎力学演習	1後		2							兼1		通・教養	基礎力学演習	1後		2							兼1
科目/数理	基礎環境化学	1 前• 後		2							兼1		科目/数理	基礎環境化学	1 前• 後		2							兼1
基礎科目	基礎電磁気学	1後		2							兼2		基礎科目	基礎電磁気学	1後		2							兼1
/理科科目	基礎電磁気学演習	1後		2							兼1		/ 理科科目	基礎電磁気学演習	1後		2							兼1
	基礎熱統計力学	2前		2							兼1			基礎熱統計力学	2前		2							兼1
	基礎熱統計力学演 習	2前		2							兼1			基礎熱統計力学演 習	2前		2							兼1
	Listening and Speaking I	1前		16							兼6			Listening and Speaking	1前		2			1				兼3
	Reading and Writing I	1後		2							兼4			Reading and Writing	1後		2			1				兼3
	English Communication I	1後		2							兼4			English Communication	2 前• 後		2			1				兼3
共通	TOEIC IA	2前		2							兼5		共通	TOEIC 1	2 前• 後		2							兼1
· 教養科目	Reading IA	2前		2							兼2		·教養科目	Reading	2 前• 後		2							兼1
1/外国語科目	Writing IA	2前		2							兼1		/ 外国語	Writing	2 前· 後		2			1				兼2
科目/英語	Presentation I	2前		2							兼1		科目/英語	Presentation I	2 前· 後		2			1				兼1
科目	TOEIC IB	2後		2							兼1		科目											
	Reading IB	2後		2							兼1													
	Writing IB	2後		2							兼1													
	Presentation II	2後		2							兼1			Presentation II	2 前後 2		2							兼1
	TOEIC II	3前		2							兼1			TOEIC 2	前・後		2							兼1

Ī		配当		単位数			任教				兼任				配		单位类					の配		兼任
科目 区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担	-			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	応用経済学	3·4 前· 後		24							兼8			応用経済学	3·4 前· 後		2							兼1
	情報アクセシビリ ティ論	2· 3·4 前·		2							兼1			情報アクセシビリ ティ論	2· 3·4 前·		2							兼1
	映像メディア論	2· 3·4 前· 後		2							兼1			映像メディア論	2· 3·4 前· 後		2							兼1
	情報時代の地域・ 都市	2· 3·4 後		2							兼1			情報時代の地域・ 都市	2· 3·4 後		2							兼1
	生産と消費の環境論	2· 3·4 前· 後		2							兼1			生産と消費の環境論	2· 3·4 前· 後		2		1					
	地域環境マネジメント	3·4 後		2							兼1			地域環境マネジメ ント	3·4 前· 後		2		1					
	環境学入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼1			環境学入門	1· 2· 3·4 前·		2		1					
	環境経済学	3·4 前· 後		2							兼3			環境経済学	3·4 前· 後		2							兼1
共通・教養科	人間社会と環境問 題	1· 2· 3·4 前·		2							兼1		共通・教養科	人間社会と環境問 題	1· 2· 3·4 前·		2		1					
目/人文社	地域と環境	2· 3·4 後		2							兼2		目/人文社	地域と環境	2· 3·4 前· 後		2		1					
会·情報系教養	福祉と技術	1· 2· 3·4 前後 1·		2							兼1		会・情報系教養	福祉と技術	1· 2· 3·4 前· 1·		2							兼4
科目	アジア文化論	2· 3·4 前· 後		2							兼4		科目	アジア文化論	2· 3·4 前· 後		2							兼1
	ジェンダー論	2· 3·4 前· 後		2							兼1			ジェンダー論	2· 3·4 前· 後		2							兼1
	哲学	3•4 前		2							兼1			哲学	3·4 前· 後		2							兼1
	倫理学	3•4 後		2							兼1			倫理学	3・4 前・後		2							兼1
	技術者の倫理	1· 2· 3·4 前		2							兼1			技術者の倫理	1· 2· 3·4 前後		2							兼2
	科学技術倫理学	3·4 前· 後		2							兼1			科学技術倫理学	3·4 前· 後		2							兼1
	生命倫理	1· 2· 3·4 前·		2							兼1			生命倫理	1· 2· 3·4 前後		2							兼1
	現代史	1· 2· 3·4 前		2							兼1			現代史	1· 2· 3·4 前後		2				1			

		配	<u>í</u>	単位数	汝	車	任教	員等	の配	置	兼任	ìI			配	É	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	-		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
区刀		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担		ムカ		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		1.	19	1/1	Ш	18	18	l bih	**	7	12				1.	19>	1/1	Ш	18	18	Hid	孙		JE.
	芸術学	2· 3·4 前· 後		2							兼1			芸術学	2· 3·4 前· 後		2							兼1
	文化人類学	1・ 2・ 3・4 前・		2							兼1			文化人類学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
	比較文化論	後 3·4 前·		2							兼1			比較文化論	後 3·4 前·		2							兼1
	文学論	後 1· 2· 3·4		2							兼1			文学論	後 1· 2· 3·4		2							兼1
	J. J. Mill	前後 1· 2·		-							Χ.			2. J Mill	前· 後 1· 2·		-							XK.
	日本国憲法	3·4 前· 後		2							兼1			日本国憲法	3·4 前· 後		2							兼1
	知的財産法	3·4 前· 後		2							兼1			知的財産法	3·4 前· 後 1·		2							兼1
共	法学入門	2· 3·4 前· 後		2							兼1		共	法学入門	2· 3·4 前· 後		2							兼1
通・教養科	民法	2· 3·4 前		2							兼1		通·教養	民法	2· 3·4 前· 後		2							兼1
科目/人文社	現代日本の地方自 治	2· 3·4 前· 後		2							兼1		科目/人文	現代日本の地方自 治	2· 3·4 前· 後		2							兼1
会・情報	経済学入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼1		社会・情報	経済学入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼2
系教養科目	ミクロ経済学	1· 2· 3·4 前		2							兼2		系教養科目	ミクロ経済学	1· 2· 3·4 前後		2							兼1
	マクロ経済学	1· 2· 3·4 後		2							兼1			マクロ経済学	1· 2· 3·4 後		2							兼1
	企業システム論	3·4 前· 後		2							兼1			企業システム論	3·4 前· 後		2							兼1
	社会学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1			社会学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
	地域社会学	2· 3·4 前· 後		2							兼1			地域社会学	2· 3·4 前· 後		2							兼1
	文学表現法	3·4 前· 後		2							兼1			文学表現法	3·4 前· 後		2							兼1
	プレゼンテーション 入門	1· 2· 3·4 前		2							兼1			プレゼンテーション 入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼2
	レポートライティン グ	1· 2· 3·4 前後		2							兼2			レポートライティン グ	1· 2· 3·4 前·		2							兼3

		配	į	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	l [配	Ĺ	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
共通・教養科目/人													共通・教養科目/人	グローパリゼー ション論 地域調査・分析入 門	2・4 前後 2・4 前・		2				1			
文社会・情報系教養科目	情報リテラシ	1前		2							兼4		文社会・情報系教養科目	地域と経済情報リテラシ	後 2·3·4 前後 前		2				1			兼2
	ウェルネス・スポーツ (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		76							兼3			ウェルネス・スポー ツ (テクニカル)	3•4 前		1							兼1
	ウェルネス・スポーツ (スポーツコミュニケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼2			ウェルネス・スポーツ (スポーツコミュニケーション)	3·4 後		1							兼1
	バスケットボール (テクニカル)	1· 2· 3·4		1							兼1			バスケットボール (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1
#	バスケットボール (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1		#	バスケットボール (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
共通・教芸	軟式野球 (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1		• 教	軟式野球 (テクニカル)	1・ 2・ 3・4 前		1							
養科目/	軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1		科目/	軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
体育・健	卓球 (テクニカル) 卓球	2· 3·4 前		1							兼1		体育・健	卓球 (テクニカル) 卓球	2・ 3・4 前 1・		1							兼1
康科目/	学 (スポーツコミュニケーション) サッカー	2· 3·4 後 1·		1							兼1		康科目/	学 (スポーツコミュニケーション) サッカー	2· 3·4 後 1·		1							兼1
身体的コ	(スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 後 1·		1							兼2		身体的コ	(スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 後 1·		1							兼1
ш п п	テニス (テクニカル)	2· 3·4 前 1·		1							兼1		ш п П	テニス (テクニカル)	2・ 3・4 前 1・		1							兼1
ケーショ	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 後 1·		1							兼1		ケーショ	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 後 1·		1							兼1
ンスキル	フットサル (テクニカル)	2· 3·4 前 1·		1							兼1		ンスキル	フットサル (テクニカル)	2・ 3・4 前 1・		1							兼1
科目	フットサル (スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 後 1·		1							兼1		科目	フットサル (スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 後 1·		1							兼1
	ゴルフ (テクニカル)	2· 3·4 前		1							兼1			ゴルフ (テクニカル)	2・ 3・4 前 1・		1							兼1
	ゴルフ (スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 前		1							兼1			ゴルフ (スポーツコミュニ ケーション)	2・ 3・4 前 1・		1							兼3
	ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ ケーション)	2· 3·4 前		1							兼4			ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ ケーション)	2• 3•4 前		1							兼2
	フラッグフットボー ル (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼2			フラッグフットボー ル (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1

		配	Ĺ	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼				配	Ĕ	单位类	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼	科 区	目 [分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
		次	修	択	由	授		師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
共通	ソフトボール (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1			ソフトボール (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
・教養科目/	バドミントン (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 前		1							兼1	1		バドミントン (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4		1							兼1
体育・健康												ī t	康	パドミントン(テクニ カル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1
科目/身体的	バレーボール (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1	- { 	身	バレーボール (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4		1							兼1
コミュニケー	スキー (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4		1							兼1	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	コミュニケー	スキー (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4		1							兼3
ションスキルロ	フィットネスA	3•4 前		1							兼5	: : :	ションスキル科	フィットネスA	3•4 前		1							兼1
科目	フィットネスB	3·4 後		1							兼2		目	フィットネスB	3·4 後		1							
	身体運動のバイオ メカニクス	1· 2· 3·4 前		23							兼 13			身体運動のバイオ メカニクス	1· 2· 3·4 前		2							兼1
共通・教養	スポーツ生理学	1· 2· 3·4 後		2							兼1	i 孝	共通・教養	スポーツ生理学	2· 3·4 後		2							兼1
科目/	スポーツ健康学	3·4 前· 後		2							兼1	₹ E	科目/	スポーツ健康学	3·4 前· 後		2							兼1
体育・健康	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニ ケーション	1· 2· 3·4 前		2							兼1	16	体育・建康	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニ ケーション	1· 2· 3·4 前		2							兼2
科目/理	ヘルスコンディショ ニング演習	1· 2· 3·4 後		2							兼2	₹ E	科	ヘルスコンディショ ニング演習	1· 2· 3·4 前		2							兼1
論科目	エクササイズ演習 (基礎)	3•4 前		2							兼1	言		エクササイズ演習 (基礎)	3•4 前		2							
	エクササイズ演習 (応用)	3•4 後		2							兼1			エクササイズ演習 (応用)	3·4 後		2							
														芝浦工業大学通 論	1· 2· 3·4			2						兼2
														ダイバーシティ入 門	1· 2· 3·4 前·			2						兼3
												4	全	Japanese Language I	後 1· 3·4			2						兼1
												1	学共通科目	Japanese	前後 1· 2· 3·4			2						兼2
														Language II	。前後1·2·			2						**
														Japanese LanguageⅢ	3.4 前後1.			2						兼1
														技術経営入門	2· 3·4 前· 後			2						兼1

THE .	_	配		单位数					の配		兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	-
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担

		配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	-
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	海外語学演習1	1・2・4 前後			2						
	海外語学演習2	1· 2· 3·4 前後			2						
	海外語学演習3	1・2・3・4 前後			2						
学科課程	海外語学演習4	1.2.3.4			2						
外科目	海外語学演習(短 期)1	1· 2· 3·4 前後			1						
	海外語学演習(短 期)2	1· 2· 3·4			1						
	海外語学演習(短 期)3	1· 2· 3·4 前後			1						
	海外語学演習(短期)4	1· 2· 3·4 前·			1						

[3	P成29年度】											_	[3	F成30年度】										
41 D		配	必	単位数 選	自	教	任教 准	貞等 講	の配助	置助	兼任		*1 D		配当	必	単位数 選	自	教	任教 准	員等講	の配 助	置 助	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	択	由由	投授	教授	師	教	手	· 兼 担		科目 区分	授業科目の名称	年次	必修	択	由由	投授	教授	師師	教	助	· 兼 担
	建築デザイン基礎	1前	2			3					兼5 →兼 6			建築デザイン基礎	1前	2			3					兼6
	建築デザイン入門	1前		2		2					兼1			建築デザイン入門	1前		2		20	1	1			兼1
	居住空間史	1前		2		2								居住空間史	1前		2		2					
	力学の基礎	1前		2		4	1							力学の基礎	1前		2		5	1				
	デザイン史	1後		2							兼1			デザイン史	1後		2							兼1
	建築デザイン基礎 2	1後	2			2					兼7			建築デザイン基礎2	1後	2			2					兼8
	建築の形態と空間	1後		2		2								建築の形態と空間	1後		2		2					
	建築環境工学1	1後	2			2								建築環境工学1	1後	2			2					
	構造力学・演習	1後	3			2					兼1			構造力学・演習	1後	3			2					兼1
市	空間建築デザイン 演習1	1後		2		2							亩	空間建築デザイン 演習1	1後		2		3					兼1
専門科目	都市建築デザイン 演習1	1後		2				1			兼1		専門科目	都市建築デザイン 演習1	1後		2				1			兼2
	建築 ものづくり	1後		2		1								建築 ものづくり	1後		2		1					
	建築スタジオ演習1	1後		2		1					兼2			建築スタジオ演習1	1後		2		1					兼2
	住生活論	2前		2							兼1			住生活論	2前		2							兼1
	CAD·CG演習	2前		2		1					兼3			CAD·CG演習	2前		2		1					兼3
	都市地域計画	2前		2		2	1							都市地域計画	2前		2		3					
	建築環境工学2	2前		2		1					兼1			建築環境工学2	2前		2		2					
	材料力学・演習	2前		3		1					兼2			材料力学・演習	2前 •後		3		1					兼2
	建築構造計画	2前		2		1	1							建築構造計画	2前		2		1	1				
	構造材料	2前		2		1					兼1			構造材料	2前		2		2					
	空間建築デザイン 演習2	2前		2		1					兼5			空間建築デザイン 演習2	2前		2		3					兼5

		配当		单位数				員等			兼任	1			配		单位数					の配		兼任
科目 区分	授業科目の名称	年	必	選	皿	教	准教	講	助	助	・兼		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	町	教	准教	講	助	助	・兼
		次	修	択	由	授		師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	建築設計計画論	2前		2		1								建築設計計画論	2前		2		1					
	都市建築デザイン 演習2	2前		2		2					兼5			都市建築デザイン 演習2	2前		2		2					兼5
	建築計画1	2前		2		1								建築計画1	2前		2		1					
	西洋建築史	2前		2		1								西洋建築史	2前		2		1					
	建築スタジオ演習2	2前		2		2					兼1			建築スタジオ演習2	2前		2		2					兼1
·	プロジェクト研究1	2前		2		1	1							プロジェクト研究1	2前		2		1	1				
·	色彩·素材論	2後		2							兼1			色彩·素材論	2後		2							兼1
	建築環境心理学	2後		2							兼1			建築環境心理学	2後		2							兼1
	日本建築史	2 後・ 3前		2		2								日本建築史	2 後・ 3前		2		2					
	BIM演習1	2後		2		1					兼3			BIM演習1	2後		2		1					兼3
専門	建築設備	2後		2		2							門	建築設備	2後		2		2					
	建築構造解析·演 習	2後		3		1	1				兼1		科目	建築構造解析•演 習	2前 •後		3		1	1				
·	仕上げ材料	2後		2		1					兼1			仕上げ材料	2後		2		2					
·	空間建築デザイン 演習3	2後		2		3					兼4			空間建築デザイン 演習3	2後		2		4	1				兼2
·	建築設計論	2後		2		1					兼1			建築設計論	2後		2		2					
	地域設計論	2後		2		2								地域設計論	2後		2		2					
	建築史	2後		2		1								建築史	2後		2		1					
	建築構法	2後		2		1								建築構法	2後		2		1					
	都市建築デザイン 演習3	2後		2		1					兼5			都市建築デザイン 演習3	2後		2		1					兼5
	都市建築論	2後		2		1								都市建築論	2後		2		1					
	地域マネジメント	2後		2			1							地域マネジメント	2後		2		1					
	木造建築	2後		2		1								木造建築	2後		2		1					

		西巴		单位数				員等			兼	1			配		单位娄					の配		兼
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自 由	教授	准教授	講師	助教	助手	任・兼担		科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	田田	教授	准教授	講師	助教	助手	任・兼担
	建築スタジオ演習3	2後		2	ш	JX	1	цт	70		兼2			建築スタジオ演習3	2後	פון	2	ш	JX	JX	1	70	J	兼2
	プロジェクト研究2	2後		2		1					兼2			プロジェクト研究2	2後		2		1					兼2
	BIM演習2	3前		2		1					兼4			BIM演習2	3前		2		1					兼4
	空調システム計画	3前		2		2								空調システム計画	3前		2		2					
	都市環境設備計画	3前		2		1								都市環境設備計画	3前		2		1					
	建築振動解析	3前		2		1					兼1			建築振動解析	3前		2		1					兼1
	鉄筋コンクリート造の設計1	3前		2		2								鉄筋コンクリート造 の設計1	3前		2		2					
	鋼構造の設計	3前		2			1				兼1			鋼構造の設計	3前		2			1				兼1
	建築環境実験	3前		2		3					兼2			建築環境実験	3前		2		4					兼1
	空間建築デザイン 演習4	3前		2		4					兼4			空間建築デザイン 演習4	3前		2		5					兼3
専門	近代建築と技術	3前		2							兼1		専門	近代建築と技術	3前		2							兼1
科目	建築構法計画論	3前		2		1							科目	建築構法計画論	3前		2		1					
	建築法規	3前		2							兼1			建築法規	3前		2							兼1
	都市住宅論	3前		2		1								都市住宅論	3前		2		1					
	建築生産	3前		2		1								建築生産	3前		2		1					
	建築材料施工実験	3前		2		1					兼1			建築材料施工実験	3前		2		1					兼1
	建築構造実験	3前		2		2	1							建築構造実験	3前		2		2	1				
	都市建築デザイン 演習4	3前		2		5					兼3			都市建築デザイン 演習4	3前		2		5					兼3
	都市地域デザイン演習	3前		2		1	1				兼1			都市地域デザイン 演習	3前		2		2					兼1
	近代建築作家論	3前		2		1								近代建築作家論	3前		2		1					
	都市デザイン論	3前		2		1								都市デザイン論	3前		2		1					
	建築プロジェクトマ ネジメント	3前		2		1								建築プロジェクトマ ネジメント	3前		2		1					

		配		单位数				員等			兼	1			配		单位数					の配		兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	建築構工法1	3前		2		1								建築構工法1	3前		2		1					
	建築材料構造実験	3前		2		2								建築材料構造実験	3前		2		2					
	建築スタジオ演習4	3前		2		1	1							建築スタジオ演習4	3前		2		1	1				
	空間情報デザイン演習	3前		2		1					兼1			空間情報デザイン演習	3前		2		1					兼1
	プロジェクト研究3	3前		2		1					兼2			プロジェクト研究3	3前		2		1					兼2
	建築英語	3後		2							兼1			建築英語	3後		2							兼1
	GIS演習	3後		2		1								GIS演習	3後		2		1					
	プロジェクトゼミ	3後		2		25	3	1						プロジェクトゼミ	3後		2		30	2	1			
	建築音響計画	3後		2							兼1			建築音響計画	3後		2		1					
	給排水システム計 画	3後		2							兼1			給排水システム計 画	3後		2							兼1
専門が	光環境計画	3後		2							兼1		専門な	光環境計画	3後		2							兼1
科目	基礎構造	3後		2							兼1		科目	基礎構造	3後		2							兼1
	鉄筋コンクリート造 の設計2	3後		2		1								鉄筋コンクリート造の設計2	3後		2		1					
	マトリックス構造解析	3後		2		1								マトリックス構造解析	3後		2		1					
	建築防災	3後		2		1								建築防災	3後		2		1					
	空間地域デザイン演習	3後		2		2					兼1			空間地域デザイン演習	3後		2		2					兼1
	ランドスケープ論	3後		2							兼1			ランドスケープ論	3後		2							兼1
	建築文化史	3後		2		1								建築文化史	3後		2		1					
	施工計画・管理	3後		2							兼1			施工計画・管理	3後		2							兼1
	木造建築の設計	3後		2							兼1			木造建築の設計	3後		2							兼1
	建築計画2	3後		2		1								建築計画2	3後		2		1					
	建築·都市法規	3後		2		1								建築·都市法規	3後		2		1					

		丙二		単位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼				配	È	単位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・		科目	授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分		年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担		区分		年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	都市開発マネジメント	3後	I'P	2		12	12	не	72	,	兼2			都市開発マネジメント	3後	19	2	ш	12	12	нр	32	,	兼2
	近代建築史	3後		2							兼1			近代建築史	3後		2							兼1
	建築経済	3後		2							兼1			建築経済	3後		2							兼1
	建築構工法2	3後		2							兼1			建築構工法2	3後		2							兼1
	空間保全再生計画	3後		2							兼1			空間保全再生計画	3後		2							兼1
	維持保全·改修	3後		2		2								維持保全・改修	3後		2		2					
	卒業研究1	4 前後	2			25	3	1						卒業研究1	4 前· 後	2			30	2	1			
	卒業研究2	4 前後	2			25	3	1						卒業研究2	4 前・ 後	2			30	2	1			
専門科	建築家職能論	4前		2							兼1		専門科	建築家職能論	4前		2							兼1
目	都市防災計画	4前		2							兼1		目	都市防災計画	3後		2							兼1
	海外建築研修	2後		2		1					兼1			海外建築研修	2後		2		1					兼1
	国内プロジェクト1	1·2 ·3 前·		1			1							国内プロジェクト1	1·2 ·3 前·		1			1				
	国内プロジェクト2	1·2 ·3 前·		1		1								国内プロジェクト2	1·2 ·3 前·		1		1					
	国内プロジェクト3	1·2 ·3 前·		1			1							国内プロジェクト3	1·2 ·3 前· 後		1			1				
	国内プロジェクト4	1·2 ·3 前·		1		1								国内プロジェクト4	1·2 ·3 前· 後		1		1					
	インターンシップ1	3.4 前後		1		1								インターンシップ1	3· 4 前· 後		1		1					
	インターンシップ2	3· 4 前後		1		1								インターンシップ2	3· 4 前後		1		1					

		配		単位数				員等		置	兼	1			配		单位娄				員等	の配		兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	任・		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	任・
丘刀		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担		ムカ		次	修	択	曲	授	教 授	師	教	手	兼担
	国際プロジェクトA	1· 2· 3·4 前後		1		1								国際プロジェクトA	1· 2· 3·4 前後		1		1		1			
	国際プロジェクトB	1· 2· 3·4 前後		1		1								国際プロジェクトB	1· 2· 3·4 前後		1		1		1			
	韓国建築実習A	3 前• 後		2		2								韓国建築実習A	3 前• 後		2		2					
	韓国建築実習B	3 前・ 後		2		2								韓国建築実習B	3 前• 後		2		2					
専門科目	フランス建築実習A	3 前• 後		2		1		1					専門科目	フランス建築実習A	3 前• 後		2		1		1			
П	フランス建築実習B	3 前・ 後		2		1		1					П	フランス建築実習B	3 前• 後		2		1		1			
	イタリア建築実習A	3 前・ 後		2		1	1				兼1			イタリア建築実習A	3 前• 後		2		2					兼1
	イタリア建築実習B	3 前・ 後		2		1	1				兼1			イタリア建築実習B	3 前• 後		2		2					兼1
	ロシア建築実習A	3 前・ 後		2		1					兼1			ロシア建築実習A	3 前• 後		2		1					兼1
	ロシア建築実習B	3 前・ 後		2		1					兼1			ロシア建築実習B	3 前・ 後		2		1					兼1
	微分積分第1	1前		2		1					兼2			微分積分第1	1 前後		2		1					兼3
	微分積分第2	1前		2		1					兼2			微分積分第2	1前・後		2		1					兼2
	線形代数第1	1前		1		1					兼2			線形代数第1	1前後		1		1					兼2
共	線形代数第2	1前		1		1					兼2		共	線形代数第2	1 前・後		1		1					兼2
通·教養	微分積分第3	1後		2		1					兼1		通·教養	微分積分第3	1前後		2		1					兼1
科目/数	微分積分第4	1後		2		1					兼1		T.J	微分積分第4	1前後		2		1					兼1
理基礎	線形代数第3	1後		1		1					兼1		理基礎	線形代数第3	1前後		1		1					兼1
科目/数	線形代数第4	1後		1		1					兼1		科目/数	線形代数第4	1前後。		1		1					兼1
数学科目	確率と統計第1	2前		1							兼3		数学 科 目	確率と統計第1	2前後。		1		1					兼3
	確率と統計第2	2前		1							兼3			確率と統計第2	2前後。		1		1					兼3
	微分方程式第1	2前		1							兼1			微分方程式第1	2前後。		1		1					兼1
	微分方程式第2	2前		1							兼1			微分方程式第2	2前後。		1		1					兼1
	ベクトル解析第1	2前		1							兼1			ベクトル解析第1	2 前• 後		1		1					兼1

ti D		配		単位数 選	自		任教 准	員等 講	の配助		兼任				配		単位数 選	自		任教 准	員等講	の配助	置助	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	进択	由由	教授	准 教 授	師師	助 教	助手	兼担	۶ D	¥目 ≅分	授業科目の名称	当年次	必修	进択	由由	教 授	准教授	師師	助教	助手	· 兼 担
	ベクトル解析第2	2前		1							兼1			ペクトル解析第2	2 前· 後		1		1					兼1
	フーリエ解析第1	2前		1							兼1			フーリエ解析第1	2 前• 後		1							兼1
共通・教	フーリエ解析第2	2前		1							兼1	j	共通・教	フーリエ解析第2	2 前• 後		1							兼1
養科目/	確率と統計第3	2後		1							兼1	1	養科目/	確率と統計第3	2 前• 後		1							兼1
数理基礎	確率と統計第4	2後		1							兼1	3	数理基礎	確率と統計第4	2 前• 後		1							兼1
科目/	ラプラス変換第1	2後		1							兼1		科目/数	ラプラス 変換第 1	2 前• 後		1							兼1
数学科目	ラプラス変換第2	2後		1							兼1	:	学科目	ラプラス変換第2	2 前· 後		1							兼1
	関数論第1	2後		1							兼1			関数論第1	2 前• 後		1		1					兼1
	関数論第2	2後		1							兼1			関数論第2	2 前*		1		1					兼1
	物理学入門	1前		2							兼3			物理学入門	1前後		2							兼3
共通・	基礎力学	1後		2							兼1	j	共通・	基礎力学	1後		2							兼1
教養科	基礎力学演習	1後		2							兼1	1	教養科	基礎力学演習	1後		2							兼1
数 理	基礎環境化学	1 前• 後		2							兼2	1	数 理	基礎環境化学	1 前• 後		2							兼2
基礎科目	基礎電磁気学	1後		2							兼1	1	基礎科目	基礎電磁気学	1後		2							兼1
/ 理科	基礎電磁気学演習	1後		2							兼1		科	基礎電磁気学演習	1後		2							兼1
科目	基礎熱統計力学	2前		2							兼1		科目	基礎熱統計力学	2前		2							兼1
	基礎熱統計力学演 習	2前		2							兼1			基礎熱統計力学演習	2前		2							兼1
共通	Listening and Speaking I	1前		2		1					兼3	j	共通	Listening and Speaking I	1前		2		1					兼3
養科	Reading and Writing I	1後		2		1					兼3	1	養科	Reading and Writing I	1後		2		1					兼3
目/外国	English Communication I	1後		2							兼3			English Communication I	1後		2							兼3
1語科目/	TOEIC IA	2前		2							兼2	1	==	TOEIC IA	2前		2							兼2
<i>、</i> 英語科目	Reading IA	2前		2							兼1	;	英語科目	Reading IA	2前		2							兼1
	Writing IA	2前		2							兼1			Writing IA	2前		2		1					

		配		单位数				員等			兼	Γ			配		单位数					の配		兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	皿	教	准教	講	助	助	任 · 兼	į	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
	 	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担	ŀ			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
共通	Presentation I	2前		2							兼1		共通	Presentation I	2前		2		1					
教養科	TOEIC IB	2後		2							兼1		教養科	TOEIC IB	2後		2							兼1
目/外	Reading IB	2後		2							兼1		目/外	Reading IB	2後		2							兼1
国語科目	Writing IB	2後		2							兼1		国語科目	Writing IB	2後		2		1					
/ 英 語 科	Presentation II	2後		2							兼1		語科	Presentation II	2後		2		1					
目	TOEIC II	3前		2							兼1		目	TOEIC II	3前		2							兼1
	応用経済学	3·4 前· 後		2							兼1			応用経済学	3·4 前· 後		2							兼1
	情報アクセシビリティ論	2· 3·4 前· 後		2							兼1			情報アクセシビリ ティ論	2· 3·4 前 後		2							兼1
	映像メディア論	2· 3·4 前·		2							兼1			映像メディア論	2· 3·4 前· 後		2							兼1
	情報時代の地域・ 都市	2· 3·4 前· 後		2							兼1			情報時代の地域・ 都市	2· 3·4 後		2							兼1
	生産と消費の環境論	2· 3·4 前· 後		2							兼1			生産と消費の環境 論	2· 3·4 前· 後		2		1					
共通・	地域環境マネジメント	3·4 前· 後		2							兼1		共通・	地域環境マネジメ ント	3·4 前· 後		2							兼1
教養科目	環境学入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼1		科日	環境学入門	1· 2· 3·4 前·		2		1					
日/人文社	環境経済学	3·4 前· 後		2							兼1			環境経済学	3·4 前 後		2							兼1
会情	人間社会と環境問 題	1· 2· 3·4 前後		2							兼2		社会・情報	人間社会と環境問 題	1· 2· 3·4 前·		2		1					
報系教養科目	地域と環境	2.3.4		2							兼1		系数	地域と環境	2.3.4		2		1					
目	福祉と技術	1・ 2・ 3・4 前・		2							兼4		目	福祉と技術	1・ 2・ 3・4 前・		2							兼4
	アジア文化論	後 1· 2· 3·4 前·		2							兼1			アジア文化論	後 1· 3·4 前·		2							兼1
	ジェンダー論	後 2・ 3・4 前・		2							兼1			ジェンダー論	後 3·4 前·		2							兼1
	哲学	後 3·4 前後		2							兼1			哲学	後 3·4 前後		2							兼1
	倫理学	3·4 前·後		2							兼1			倫理学	3・4 前後		2							兼1

		茄	È	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼	Г			西	È	单位娄	Į.	専	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	配当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・・	:	科目区分	授業科目の名称	配当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・
		次	修	択	由	授		師	教	手	兼 担	Ľ	_/,		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担
	技術者の倫理	1· 2· 3·4 前·後		2							兼2			技術者の倫理	1· 2· 3·4 前後		2							兼2
	科学技術倫理学	3·4 前· 後		2							兼1			科学技術倫理学	3·4 前· 後		2							兼1
	生命倫理	1· 2· 3·4 前後		2							兼1			生命倫理	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
	現代史	1· 2· 3·4 前後		2							兼1			現代史	1· 2· 3·4 前後		2				1			
	芸術学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1			芸術学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
共 通 •	文化人類学	1· 2· 3·4 前後		2							兼1		共通・	文化人類学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
教養科目/	比較文化論	3·4 前· 後		2							兼1		教養科目/	比較文化論	3·4 前 後		2							兼1
人文社会・	文学論	1· 2· 3·4 前·		2							兼1		人文社会·	文学論	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
情報系教養	日本国憲法	1· 2· 3·4 前·		2							兼1		情報系教養	日本国憲法	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
科目	知的財産法	3·4 前· 後		2							兼1		科	知的財産法	3·4 前· 後		2							兼1
	法学入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼1			法学入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
	民法	2· 3·4 前· 後		2							兼1			民法	2· 3·4 前· 後		2							兼1
	現代日本の地方自 治	後		2							兼1			現代日本の地方自 治	前• 後		2							兼1
	経済学入門	1· 2· 3·4 前·後		2							兼2			経済学入門	1· 2· 3·4 前·		2							兼2
	ミクロ経済学	1· 2· 3·4 前後		2							兼1			ミクロ経済学	1· 2· 3·4 前後		2							兼1

		配		単位数			任教				兼				配		单位数					の配		兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	町	教	准教	講	助	助	任・		科目 区分	授業科目の名称	当年	於	選	町	教	准教	講	助	助	任・
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担
	マクロ経済学	1· 2· 3·4 前後		2							兼1			マクロ経済学	1· 2· 3·4 後		2							兼1
	企業システム論	3·4 前· 後		2										企業システム論	3·4 前· 後		2							兼1
	社会学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1			社会学	1· 2· 3·4 前·		2							兼1
共通・	地域社会学	2· 3·4 前· 後		2							兼1		共通・	地域社会学	2· 3·4 前· 後		2							兼1
教養科目	文学表現法	3·4 前· 後		2							兼1		教養科目	文学表現法	3·4 前· 後		2							兼1
1/人文社会	プレゼンテーション 入門	1・ 2・ 3・4 前		2							兼2		/人文社会	プレゼンテーション 入門	1· 2· 3·4 前後		2							兼2
・情報系数	レポートライティング	1· 2· 3·4 前後		2							兼3		·情報系教	レポートライティン グ	1· 2· 3·4 前·		2							兼3
教養科目	グローバリゼー ション論	1· 2· 3·4 前·		2									養科目	グローバリゼー ション論	2· 3·4 前·		2				1			
	地域調査分析入門	1· 2· 3·4 前·		2										地域調査・分析入 門	2· 3·4 前· 後		2				1			
	地域と経済	1· 2· 3·4 前·		2										地域と経済	2· 3·4 前·		2				1			
	情報リテラシ	1前		2							兼2			情報リテラシ	1前		2							兼2
共通・教	ウェルネス・スポー ツ (テクニカル)	3·4 前		1									共通・教	ウェルネス・スポー ツ (テクニカル)	3-4 前		1							兼1
養科 サ-	ウェルネス・スポー ツ (スポーツコミュニ	3·4 後		1									養科目/体	ウェルネス・スポーツ (スポーツコミュニケーション)	3-4 後		1							兼1
- ションスキル科目, 体育・健康科目/身	バスケットボール (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1		ションスキ育・健康科	バスケットボール (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1
ル科目の身体的	ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1		科目身	バスケットボール (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
2 11 11 11	軟式野球 (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1		2 П <i>ш</i>	軟式野球 (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1

		配		单位数				員等			兼任	Г			配		单位数					の配		兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼		科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1			軟式野球 (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
	卓球 (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1			卓球 (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1
	卓球 (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1			卓球 (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
	サッカー (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1			サッカー (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
共通	テニス (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1		共通	テニス (テクニカル)	1· 2· 3·4 前		1							兼1
・教養科目	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1		·教養科目	テニス (スポーツコミュニ ケーション)	1· 2· 3·4 後		1							兼1
1/体育・	フットサル (テクニカル) フットサル	2・ 3・4 前 1・		1							兼1		/	フットサル (テクニカル) フットサル	2· 3·4 前 1·		1							兼1
健康科目	(スポーツコミュニ ケーション) ゴルフ	2· 3·4 後 1· 2·		1							兼1		健康科目	(スポーツコミュニ ケーション) ゴルフ	2· 3·4 後 1· 2·		1							兼1
/身体的コ	(テクニカル) ゴルフ (スポーツコミュニ	3·4 前 1· 2·		1							兼1 兼 3		/身体的コ	ゴルフ (テクニカル) ゴルフ (スポーツコミュニ	3·4 前 1· 2·		1							兼1 兼3
ーミュニケ	ケーション) ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ	3·4 前 1· 2· 3·4		1							兼2		-ミュニケ	ケーション) ゴルフアドバンス (スポーツコミュニ	3·4 前 1· 2· 3·4		1							兼2
ーションコ	ケーション) フラッグフットボー ル (スポーツコミュニ ケーション)	前 1· 2· 3·4		1							兼1		ーション	ケーション) フラッグフットボー ル (スポーツコミュニ ケーション)	前 1· 2· 3·4		1							兼1
スキル科目	ソフトボール (スポーツコミュニ ケーション)	後 1·2·3·4 後		1							兼1		4	グーション) ソフトボール (スポーツコミュニ ケーション)	後 1· 3·4 後		1							兼1
	バドミントン(テクニ カル) パドミントン	1· 2· 3·4 前		1							兼1		-	バドミントン(テクニ カル) パドミントン	1· 2· 3·4 前		1							兼1
	(スポーツコミュニ ケーション) バレーボール	2· 3·4 後 1· 2·		1							兼1			(スポーツコミュニ ケーション) バレーボール	2· 3·4 後 1· 2·		1							兼1
	(スポーツコミュニ ケーション) スキー (スポーツコミュニ	3·4 後 1· 2·		1							兼1			(スポーツコミュニケーション) スキー (スポーツコミュニ	2· 3·4 後 1· 2·		1							兼1
	ケーション) フィットネスA	3·4 後 3·4		1							兼3 兼1			ケーション) フィットネスA	3·4 後 3·4 前		1							兼3 兼1
	フィットネスB	前 3·4 後		1										フィットネスB	前 3·4 後		1							
共通·教養	身体運動のバイオ メカニクス	1· 2· 3·4 前		2							兼1		共通・教養	身体運動のバイオ メカニクス	1· 2· 3·4 前		2							兼1
日/理論科目後科目/体育		1· 2· 3·4 後		2							兼1	王言	/科	スポーツ生理学	1· 2· 3·4 後		2							兼1
e 健康		3·4 前· 後		2							兼1	ľ	健康	スポーツ健康学	3·4 前· 後		2							兼1

				単位数	汝	草	任教	員等	の配	置	兼	1 1				Ě	单位数	ţ	車	任教	員等	の配	置
科目	哲学科 日の夕む	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任		科目	坪業利口の夕 新	配当	必	選	自	教	准	講	助	 助
区分	授業科目の名称	年次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担		区分	授業科目の名称	年次	修	択	由	授	教 授	師	教	手
共通·教養	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニ ケーション	1· 2· 3·4		2							兼2		共通・教養	ヘルスリテラシー &スポーツコミュニ ケーション	1· 2· 3·4 前		2						
/ 理目/ 科体	ヘルスコンディショ ニング演習	1· 2· 3·4 前		2							兼1		/理論科体	ヘルスコンディショ ニング演習	1· 2· 3·4 前		2						
育・健康		3·4 前		2									音・健康		3·4 前		2						
科目	エクササイズ演習 (応用)	3·4 後		2									科目	エクササイズ演習 (応用)	3·4 後		2						
	芝浦工業大学 <u>通</u> 論	1・2・3・4			2						兼1			芝浦工業大学 <u>通</u> 論	1 2 3 前後			2					
全	ダイパーシティ入 門	1· 2· 3·4 前後			2						兼1		全	ダイパーシティ入 門	1· 2· 3·4			2					
王学共通科目	Japanese Language I	1· 2· 3·4 前後			2						兼1		工学共通科目	Japanese Language I	1· 2· 3·4 前後			2					
	Japanese Language II	1· 2· 3·4 前後			2						兼1			Japanese Language II	1· 2· 3·4 前後			2					
	Japanese LanguageⅢ	1· 2· 3·4 前後			2						兼1			Japanese LanguageⅢ	1· 2· 3·4 前後			2					
	海外語学演習1	1· 2· 3·4 前後			2									海外語学演習1	1.2.3前後			2					
	海外語学演習2	1・2・3・4			2									海外語学演習2	1 2 3 4			2					
	海外語学演習3	1・2・3・4			2									海外語学演習3	1 2 3 4			2					
学科課程	海外語学演習4	1・2・3・4			2								学科課程	海外語学演習4	1・2・3・4			2					
外科目	海外語学演習(短 期)1	1・2・3・4 前後			1								外科目	海外語学演習(短期)1	1 2 3 4			1					
	海外語学演習(短 期)2	1· 2· 3·4 前後			1									海外語学演習(短期)2	1· 2· 3·4 前後			1					
	海外語学演習(短期)3	1· 2· 3·4 前後			1									海外語学演習(短期)3	1· 2· 3·4 前後			1					
	海外語学演習(短 期)4	1· 2· 3·4 前後			1									海外語学演習(短期)4	1· 2· 3·4 前後			1					

兼任・兼担

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

特になし。	

【平成30年度】

- ・教育的効果の向上を理由に、専門科目の一部科目で担当教員数を増員させた。また教員の昇格が発生した。 ・グローバル化推進、学修効果の向上を理由に「卒業研究」のセメスター化を実施、また、共通教養科目/数理基礎科目/数学科目をクオー ター授業に変更。
- ・ TRX=RC 文 と。 ・ 履修機会を増やす理由により、専門科目、人文社会情報系教養科目の一部について開講期を追加。 ・ 海外留学プログラムを推進するため、海外語学演習の科目を新設。

【令和元年度】

- ・教授1名の退職に伴い、准教授1名を採用した(英語科目)。講師1名を新規で採用した(数学科目) ・専門科目において、科目新設・科目名変更・単位区分の変更を行い、選択必修科目の対象科目を拡充させることで履修機会を増やした。 ・これまでの学生の履修傾向に鑑み、また、体系的なカリキュラム見直しのため、科目の廃止・新設、配当年次の変更・科目名の変更を 行った(英語科目)
- ・担当教員の任用に合わせ、開講期「前期」から「後期」へ今年度のみ変更した(専門科目 1科目)。
- ・全学共通科目1科目を新設。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

ĺ		設置時	の計画			変更	状況		備考
I	必修 選択		自由 計(A)		必修	選択	自由	計	1用行
	5 科目	209 科目	1 科目	215 科目	6 科目 [1]	235 科目 [26]	6 科目 [4]	247 科目 [32]	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目滅の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	エクササイズ演習(応用)		3	一般	選択	共同開講である、工学部にて今年度開講 しないため。選択科目であり、かつ体 育・健康科目としても他の多くの科目が 開講しているため代替措置は行わない。
2	エクササイズ演習(基礎)		3	一般	選択	同上
3	ゴルフアドバンスSC		1	一般	選択	同上
4	軟式野球T	1	1	一般	選択	同上

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般•	専門 必修	・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	Reading IA	2	2	一般	選択		外国語科目卒業要件の8単位で、英語学習に必要な4技能を万遍なく履修することを促すカリキュラム編成が望ましいと考えるため。科目廃止に伴い、同時に科目新設をすることで体系的なカリキュラム構築を行った。
2	Reading IB	2	2	一般	選択		同上
3	Writing IA	2	2	一般	選択		同上
4	Writing IB	2	2	一般	選択		同上
5	TOEIC IA	2	2	一般	選択		同上
6	TOEIC IB	2	3	一般	選択		同上

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、選択科目であり、また、同系列である「体育・健康科目」としても他の多くの科目が開講しているため、カリキュラムや履修上、学生にとって大きな影響はない。共同開講する工学部の開講状況に応じて来年度以降の開講を検討している。廃止科目については、カリキュラム上、代替となる科目を新設するとともに、体系的なカリキュラムを整備し直した。これにより履修機会については維持・増加をはかったため学生にとって履修上の問題はない。今年度の授業科目については未開講・廃止科目を含め、年度初めのガイダンスに加え、大学WEBサイトに記載し、周知を行っている。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 10
 =
 4.65

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 215
 =
 4.65

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	芝浦	工業大!	学						備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学定員	編入学定員	収 容定 員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	開設年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍				
工学部			, ,							
機械工学科	4	115	-	445	学士 (エ 学)	1. 08	昭和24年度	東京都江東区 豊洲3丁目7番 5号 埼玉県さいた ま市見沼区大 字深作307番 地	H29.4より15名定	員増
機械機能工学科	4	115	-	445	学士 (機械 機能工学)	1. 19	昭和41年度	同上	H29.4より15名定	員増
材料工学科	4	105	-	405	学士 (エ 学)	1. 07	昭和31年度	同上	H29.4より15名定	.員増
応用化学科	4	105	-	405	学士 (エ 学)	1. 10	昭和29年度	同上	H29.4より15名定	員増
電気工学科	4	105	-	405	学士 (エ 学)	1. 06	昭和25年度	同上	H29.4より15名定	員増
情報通信工学科	4	105	-	405	学士 (エ 学)	1. 04	昭和41年度	同上	H29.4より15名定 H30.4より名称変	
電子工学科	4	105	-	405	学士 (エ 学)	1. 07	昭和41年度	同上	H29.4より15名定	員増
土木工学科	4	105	-	405	学士 (エ 学)	1. 07	昭和24年度	同上	H29.4より15名定	員増
建築学科	4	_	-	-	学士 (エ 学)	-	昭和29年度	同上	H29.4より募集停	止
建築工学科	4	_	-	-	学士 (エ 学)	-	昭和41年度	同上	H29.4より募集停	止
情報工学科	4	115	-	445	学士 (エ 学)	1. 09	昭和41年度	同上	H29.4より15名定	員増
システム理工学部								埼玉県さいた		
電子情報システム学科	4	115	-	445	学士 (エ 学)	1. 08	平成3年度	ま市見沼区大 字深作307番 地	H29.4より5名定員	連
機械制御システム学科	4	90	-	350	学士 (工 学)	1. 11	平成3年度	同上	H29.4より10名定	員増
環境システム学科	4	90	-	350	学士 (工 学)	1. 12	平成3年度	同上	H29.4より10名定	員増
生命科学科	4	115	-	445	学士(生命 科学)	1. 05	平成20年度	同上	H29.4より5名定員	€増
数理科学科	4	75	-	295	学士(数理 科学)	1. 09	平成21年度	同上	H29.4より5名定員	€増
デザイン工学部	4	160	-	620	学士 (デザイ ンエ学)	1. 09	平成21年度	東京都江東 豊洲3丁目7番 5号 埼玉県さいた ま市見沼区大 字深作307番 地	H29.4より20名定	員増
建築学部 建築学科	<u>4</u>	<u>240</u>	=	<u>720</u>	<u>学士(建築</u> 学)	<u>1. 06</u>	<u>平成29年度</u>	東京都江東 区豊洲3丁 且7番5号	<u>H29.4 開設</u>	

大学の名称	芝浦	備	考							
既設学部等の名称	年限 定 定 貝 定 貝		学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	開設年度	所 在 地				
芝浦工業大学大学院										
理工学研究科 修士課程										
電気電子情報工 学専攻	2	110	-	210	修士 (工 学)	1. 03	昭和38年度	東京都江東区 豊洲3丁目7番 5号 埼玉県さいた ま市見沼区大 字深作307番 地	H31.4より	10名定員増
材料工学専攻	2	40	_	70	修士 (工 学)	1. 20	昭和38年度	同上	H31.4より	10名定員増
応用化学専攻	2	30	-	50	修士 (工 学)	1. 36	昭和38年度	同上	H31.4より	10名定員増
機械工学専攻	2	85	-	150	修士 (工 学)	1. 09	昭和51年度	同上	H31.4より	20名定員増
建設工学専攻	2	120	-	210	修士 (工 学)	1. 21	昭和51年度	同上	H31.4より	30名定員增
システム理工学 専攻	2	75	-	125	修士(システム 理工学)	1. 39	平成23年度	同上	H31.4より	25名定員増
国際理工学専攻	2	10	_	20	修士 (理工 学)	0. 45	平成29年度	同上		
博士(後期)課程								東京都江東区 豊洲3丁目7番		
地域環境システム専攻	3	12	_	32	博士(エ学)又は博士(学術)	0. 83	平成7年度	5号 埼玉県さいた ま市見沼区大 字深作307番 地	H31.4より	2名定員増
機能制御システム専攻	ステム専攻 3 15 - 31		博士(エ 学)又は博 士(学術)	1. 63	平成7年度	同上	H31.4より	7名定員増		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】
○教育効果を考慮し、兼任講師を追加
【平成30年度】
○教育効果を考慮し、兼任講師を追加 ○専任教員の定年退職による後任の補充
【令和元年度】
○教育効果を考慮し、専任教員および兼任講師を追加

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **窓可で設置された学部等の事任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。
 AC教員審査を受けずに事任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
19	10
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専仟教員数【大学】

	Ē	役置時の計画	画		現在(報告時)の状況							
教 授	准教授	講師	助 教 計 (A)		教 授	准教授	講師	助教	計 (B)			
22	5	1	0	28	31	4	3	0	38			
(25)	(5)	(1)	(0)	(31)								
Ŋ	見在(報告日	寺)の完成4	年度時の状況	兄	3	現在 (報告問	特)の完成年	F度時の計画	Ξ.			
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)			
31	4	3	0	38	31	4	5	0	38			
[6]	[Δ1]	[2]	[0]	[7]	[6]	[△1]	[2]	[0]	[7]			

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、
 - 完成年度までに就任する教員教を加えた教を配入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例:1名減の場合:△1)・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例:1名減の場合:△1)

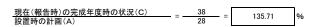
(2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	o si	担当予定科目	1	後任	補充状	況	京	忧任辞退	(未	就任)の理日	ⅎ	
				該当無し														
				合計	(D)							後	经任補充状況	の集計	(E)			
	京	た任 を	を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	† (a)) + (b) + (c)		①の合計	数(a	1)	②の合計	十数 (b)		③の合計	数(c)
					必	修		科目	ļ	必修		科目	必修		科目	必修		科目
I					選	択		科目	ì	選択		科目	選択		科目	選択		科目
I			0	人	自	由		科目		自由		科目	自由		科目	自由		科目
						†		0 科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専仟教員辞仟の理由及び後仟補充状況

番	号	聵	战 位	専任教員氏名	名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目	1	後任	補充状	況		辞	任等	の理由		
				該当無し															
L																			
L																			
H		<u></u>			A =1	(=)								\ /* ** ** \!\ \'T	○ #=1	(0)			
					百計	(F)							-	长任補充状況					
			辞任	した教員数		担当科	目数の合言	† (a)) + (b) + (c)	(①の合計	数(a)	1	②の合計	ト数 (b)	1	③の合計	数(c)
				必	修		科目	1	必修		科目	必修		科目	必修		科目		
				選	択		科目	ì	選択		科目	選択		科目	選択		科目		
I	0		У	•	自	由		科目	-	自由		科目	自由		科目	自由		科目	
				Ē	+	(0 科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	(b) + (c)	①の合計	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計							
		必修	0	科目	必修	0 科	■ 必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0	科目	選択	0 科	選択	0 科目	選択	0 科目		
0	Α	自由	0	科目	自由	0 科	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0	科目	計	0 科	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	状況	辞任等の理由						
			選択	仕上げ材料	1								
1	教授	本橋 健司	選択	構造材料	1		H30.3.31付け65歳で定年退職(30)						
			選択	材料力学・演習	2								
			選択	PresentationI	1								
2			選択	PresentationII	1								
	教授	ホートン広瀬恵美子	選択	Writing	1		H31.3.31付け65歳で定年退職(元)						
			選択	Listening and Speaking	1								
			選択	Reading and Writing	1								
		É	計		後任補充状況の集計								
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) ①の合計数 (a)								②の合計数 (b) ③の合計数 (c)					
			必修	0 科目	必修	0	科目 必修	0 科	业修	0	科目		
_			選択	8 科目	選択	7	科目 選択	1 科	選択	0	科目		
	2	人	自由	0 科目	自由	0	科目 自由	0 科	自由	0	科目		
			計	8 科目	計	7	科目計	1 科	計	0	科目		

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年による退職であり、学部設置構想の段階で把握している。これらを踏まえ、あらかじめ教員採用、授業担当を計画しているため、学生 の履修等への影響はないと考える。授業担当は、シラバス等に明記し、学生へ周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	•	附	帯	事	項	等	履	行	状	況		今後の の実施計画
設置時		該当なし										
(29年4月)											
設置計画履行物調 査 (30年2月	時	該当なし									履行済	
設置計画履行物調 査 (31年2月	時	該当なし									履行済	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

その他全般的事項

<建築学部 建築学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設 置 時 の 計 画 変更内容・状況、今後の見通し	など
特になし		

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教授会委員会の一つとして建築学部FD委員会を設置し、既存の他学部が進めてきた先行事例を参考に具体的な取組みについて検討し、その方策を練っている。(建築学部FD委員会規程は別紙のとおり)全学組織としては教育イノベーション推進センターが設置されている。本センターは、教育の質保証および教育

改善のための取組みについて全学的方針を策定し、新たな教育改革・改善活動等を推進している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

建築学部FD委員会は3名の教員で構成され、建築学部長室と連携し活動を行っている。委員の一人が教育イノ ベーション推進センターのFD・SD推進部門委員であることから、同センターの情報に基づく情報・意見を交換する ためのFD委員会を開催した

年度初めには、FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式が教育イノベーション推進センターおよび学長室の主催で開催され、建築学部からは教員11名が参加した。同センターの「キャリア教育部門」、「FD・SD推進部門「グローバル推進部門」、「本育学習支持。計算等である。 教育改革・改善活動を推進している。また、建築学部全教員が出席する教授会等において、「芝浦工業大学 ポジションと大学院教育改革の動向」、「学内の典型事例を通して学ぶ 一発達障害学生の理解と対応一」、 「芝浦工業大学の 「カリキュラム評価の意義と方法」と題する講演会が開催された。

委員会の審議事項等

他学部が進めてきた先行事例および教育イノベーション推進センターのFD・SD推進部門が保有する情報に 基づき建築学部に展開すべき活動の方向性やその具体的な内容について議論し、学部内でFD活動を展開 するための戦略を練った

建築学部は多コース単学科(建築学科)であり、他学部の学科と比較して在籍学生数が多く、専任教員も 多数在籍しているため、同一シラバスの専門科目が複数開講されている。そのため、互いに受け持つ授業を 履修学生にとってより効果的に展開するための方策について考察し、その情報を共有することとした。まずは 効果的な授業がどの様に実施されているかを把握すべく互いに授業を見学し、授業改善の方向性についての 理解を深めるという取組方針を確認した。

② 室施状況

- a 実施内容
 - 新仟教員研修会
 - 教育・研究業績等評価シート作成
 - ·FD·SD講演会および優秀教育教員顕彰式(全学)
 - 授業見学機会の設定
- b 実施方法
 - 新任教員研修会:教育活動をする上での基礎理解、各種ガイドラインの理解等についての研修会の開催
 - ・教育・研究業績等評価シート作成:例年5月に、全専任教員は各自の達成目標と活動計画を策定し提出 することとしている。また年度末には、達成度と改善点を記入し提出する。
 - ・FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式(全学):本学の全教員を対象としたFD・SD講演会および 優秀教育教員顕彰式(受賞者による講演)の開催
 - ・授業見学機会の設定:手始めとして、ファカルティデベロッパーの資格を有する教員による授業を 見学する機会を設ける。これを起点に教員同士の授業見学を推進することで、より効果的な授業 改善が相互的に実施される。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・新任教員研修会:4月に新任教員を対象に研修会を実施(H30年度建築学部参加3名)。9月および2~3月にフォローアップ研修を実施。
 - ・教育・研究業績等評価シート作成:全専任教員は、5月に目標計画書を作成予定。
 - ・FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式(全学):3月30日に開催し、建築学部教員11名が参加した。 学長による基調講演の他、本学教員を対象とした優秀教育賞の表彰が行われた。優秀教育賞受賞者 の中から、建築学部の教員は受賞対象となった取組みについて講演を行った。
 - ・授業見学機会の設定:FD委員がファカルティデベロッパーによる授業を見学し、その授業についての分析を行った。
 - ・本学理工学教育共同利用拠点事業の研修プログラム(26件)には、すべての教員(専任・非常勤)が参加可能である。H30年度開催の各種FD研修会(上述以外、講演会含む)には建築学部教員延べ133名が参加した。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・新任教員研修会: H30年度は4月7日の研修に加え、9月6~7日で授業に関連する実践的な側面からの研修(フォローアップ研修会)を実施した。H31年度は4月14日に研修を実施。9月にも昨年同様のフォローアップ研修を予定している。
 - ・教育・研究業績等評価シート作成:例年5月に全専任教員は各自の達成目標と活動計画を策定し提出する。また年度末には、達成度と改善点を記入・提出する。これらは、所属の学部長等から学長に提出する。必要に応じて、学部長から助言等が行われる他、学部長、学長から全体講評が発せられる。本制度により、自己点検を実施する体制が確立しており、教育・研究の質を担保している。
 - ・FD・SD講演会および優秀教育教員顕彰式(全学):教育賞の受賞者による教育方法についての講演は、参加した多くの本学教員にとって刺激となる好事例であり、授業改善へのよい示唆となったものと思われる。
 - ・授業見学機会の設定:建築学部の授業は講義のみならず、製図・設計・実験といった実習系の授業も多く、また履修者数が優に100名を超える大人数科目と10数名程度の少人数科目でも授業の効果的実施方法は大きく異なる。そのため、授業見学が担当授業の改善に即結びつく訳ではないが、授業見学の経験蓄積は担当授業に適した授業改善に寄与することが期待されるため、今後、順次拡大して行く予定である。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前期/後期修了時に当該科目の履修者を対象に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、担当教員にフィードバックされるとともに、学内者のみが閲覧できる シラバス検索システムで教職員、学生が確認することができる。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況(各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む) 該当無し
- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当無し

c 委員会の審議事項等

該当無し

d その他

該当無し

- ② 審議状況
 - a 審議した内容

該当無し

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況 該当無し
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況 該当無し

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、学校法人芝浦工業大学評価委員会規程に基づき、点検・評価を実施している。本学では、毎年、大学、各学部・研究科毎に自己点検・評価報告書を作成している。建築学部は、開設した2017年度より毎年自己点検評価を行っている。設置の趣旨・目的の達成状況については、自己点検・評価報告書で自ら検証している。外部評価委員会からは、建築学部は履行計画に基づき順調に学部運営が行なわれ、志願者も多く集めていることが評価されている。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期 令和元年5月末 公表予定
 - b 公表方法 大学WEB上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画

平成30年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受審の結果、大学基準に適合していると認定された。 認証期間:2019(平成31)年4月1日~2026(平成38)年3月31日まで

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- O 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

 a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

 b 公表有の場合の公表(予定)時期 (2019年7月1日)

 b 公表無の場合の特段の理由 ()
 - (注)・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。